



Discription 【プレポスト】COBOLプログラム(応用編)



問題1 正解:1



解説

コントロールブレイク処理はあるまとまりごとに合計を求めるため、事前に集計のキーとなるデータ項目を昇順または降順に並び替えておく必要があります。

「参考ページ」2章 23ページ

(配点:5点)



問題2 正解:2



解説

コントロールブレイク処理ではキーを一つ前のキーと比較し、値が変化したときにそれまでのグループに対する処理を行います。グループごとの初期値設定は、グループごとの繰り返しの直前で行います。

「参考ページ」2章 24ページ

(配点:5点)



問題3 正解:2



解説

繰り返しが何重にもなっている構造では、外側の繰り返しの終了条件を内側の繰り返しの終了条件に加えておく必要があります。条件の指定を誤るとプログラムが無限ループとなる場合があります。

「参考ページ」2章 36ページ

(配点:5点)



問題4 正解:3



解説

CURRENT-DATE関数を使用することでシステム関数を利用することができます。

「参考ページ」2章 42ページ

(配点:5点)



問題5 正解:2



解説

論理演算子を使用した条件式には優先順位があります。1.算術式、2.全ての比較演算子、3.NOT、4.AND、5.ORの順番です。また、カッコは最優先されます。

「参考ページ」2章 43ページ

(配点:5点)

**問題6** 正解:4**解説**

表の中の各要素(表要素)を識別するために、添え字を使用します。
「参考ページ」3章 47ページ

(配点:5点)

**問題7** 正解:2**解説**

添え字には小数点、負の数、表領域を超える値を使用することはできません。
「参考ページ」3章 51ページ

(配点:5点)

**問題8** 正解:2**解説**

OCCURS句は、同じ形式で同じ大きさの項目の領域を指定した回数分繰り返し、表を確保するための命令です。
(レベル番号 データ項目名 [PIC 属性] OCCURS 整数 TIMES)
「参考ページ」3章 62ページ

(配点:5点)

**問題9** 正解:1**解説**

01レベルのデータ項目にOCCURS句を指定することはできません。
「参考ページ」3章 62ページ

(配点:5点)

**問題10** 正解:2**解説**

添え字のとりうる範囲は1からOCCURS句で指定した反復回数までの値です。単価表に一致するデータがない場合、カウントアップした添え字が表領域外を指し、プログラムは異常終了します。そこで、条件に「添え字=添え字の最大値」を付け加えて、強制的に繰り返しを抜けるように設定します。
「参考ページ」3章 68ページ

(配点:5点)

**問題11 正解:3****解説**

二次元の表の添え字の記述方法は(添え字, △添え字)または(添え字△添え字)です。
「参考ページ」3章 51ページ

(配点:5点)

**問題12 正解:2****解説**

データ項目を同じ領域に重ねて割り当てることを領域の再定義といいます。領域の再定義にはREDEFINES句を使用します。定義済みの領域を別の領域で再定義してデータを共有することができます。
「参考ページ」3章 74ページ

(配点:5点)

**問題13 正解:3****解説**

領域の再定義をするためのREDEFINES句の記述方法は、「レベル番号 再定義する項目名 REDEFINES 再定義される項目名 PIC 属性」です。
「参考ページ」3章 76ページ

(配点:5点)

**問題14 正解:1****解説**

領域の再定義は初期値を入れた領域を表として再定義する方法や同一領域のデータを異なった形式で利用する方法があります。
「参考ページ」3章 76ページ

(配点:5点)

**問題15 正解:4****解説**

基本項目の属性に合わせて初期化するINITIALIZE命令の記述方法は、「INITIALIZE 初期化するデータ項目名」です。
「参考ページ」3章 63ページ

(配点:5点)

**問題16 正解:2****解説**

トランザクションファイルとは、一時的に使用されるファイルで、毎日のデータなどを記録しているファイルのことです。

「参考ページ」4章 79ページ

(配点:5点)

**問題17 正解:3****解説**

マッチング処理とは複数のファイルを突き合わせる処理のことです。マッチング処理を行う事前準備としてあらかじめ使用するファイルのデータは、昇順または降順に並べ替えておく必要があります。

「参考ページ」4章 79ページ

(配点:5点)

**問題18 正解:4****解説**

ファイルメンテナンスとは、マスタファイルとトランザクションファイルを使用しマッチング処理を行い、マスタファイルの内容を最新の状態に保つ処理のことです。

「参考ページ」4章 79ページ

(配点:5点)

**問題19 正解:4****解説**

HIGH-VALUEはコンピュータで扱う最大値を示す表意定数です。また、LOW-VALUEはコンピュータで扱う最小値を示す表意定数です。

「参考ページ」4章 86ページ

(配点:5点)

**問題20 正解:2****解説**

EVALUATE TRUEと記述した場合は、WHENの後に続けて条件を記述します。

「参考ページ」4章 100ページ

(配点:5点)

合計点	
-----	--